

12.主要科目の特長及び目標

(1) 幼児教育コース(指定保育士要請施設)

教科科目	科目の特長	科目の目標
保 育 原 理	めまぐるしく変化する保育環境に伴い、保育士の需要が日々増大している。このようなことを踏まえ、保育の意義、保育の目標、保育の歴史、保育の課題について学ぶ。	保育の内容・計画、こどもの安全・健康など、保育の基礎・基本を確実に身につけ必要な人間性や倫理観も併せて身につける。
社 会 的 養 護 I	養育・保護・子どもであることへの回復・生活文化と生活力の習得・生命倫理観の醸成からなる5つの原理について、養護の価値観をベースに学ぶ。子どもの権利と援助の理念について、制度や事例を基に学ぶ。	子どもの権利と援助の理念を学び、養護の価値観を習得する。施設実習に参加するために、養護原理を理解し、養護原理を活用できるようにする。
保 育 の 心 理 学	それぞれの時期における、子どもの心理発達の特徴の基礎的な知識について学ぶ。保育者として必要になる、子どもを捉える基本的視点の獲得が可能となるようにする。	子どもの心理・発達の特徴について基礎知識を学ぶ。養護および教育の一体性に即した援助や幼児の主体的な学習活動を支えるために必要な基本的視点を獲得する。
子 ども の 食 と 栄 養 I	健全な食生活を構築し、実践するにはどのようなことが必要かを学び、乳幼児の健やかな発達について食と栄養に視点を置き、探求する。	幼児期の栄養、食生活の重要性を理解して、保育実践に役立つ知識を備える。
保 育 内 容 総 論	保育所保育指針に基づく保育の基本と保育内容について理解する。保育内容に係る基本原則に関わる事項を踏まえ具体的に展開できるように説明していく。	保育内容の土台となる保育所保育指針を理解し、保育の全体構造と保育内容を理解する。
乳 児 保 育 I	乳児期の養育者との信頼関係を基盤に、3歳未満児の発達の特徴や道すじを踏まえて「保育のねらいと内容」について学ぶ。	乳児保育を取り巻く課題・意義・目的を理解し、3歳未満児の保育・発達を踏まえた保育の内容や連携について理解し、実践に活かす。
音 楽 I	楽譜上のリズムや音読の早期上達をはかり、保育現場での即戦力となるよう歌唱も加えていく。人前で弾く・歌うことに慣れ、それぞれがステップアップしていく。	保育者には子どもたちの表現力を、音楽的な面からも指導することが必要とされる「楽譜から音楽を読み取る力」に必要な知識を習得する。
ゼ ミ ナ ー ル I	少人数の編成でディスカッションを積極的に採り入れ、学生の自発的な参加による双方向性の授業を展開していく。指導教員の下、ゼミ形式で、あるテーマに関する研究発表や議論・講読やボランティア活動などを展開する。	課題発見能力、レポートにまとめる能力、プレゼンテーション能力を養うことを目標とする。
芸 術 と 文 明	世界の歴史において各地域で展開した東西諸文明と、これを代表するすぐれた芸術作品～絵画・彫刻・建築・詩・小説・演劇～などをとりあげ、人類文化を考察する。	古今東西の芸術作品を、それらが生み出された諸文明の中で捉え、歴史的・総合的に理解する。
情 報 処 理 演 習 I	コンピューターおよび情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用ができるようになると共に文部科学省後援の「文書デザイン検定試験」などの上級検定試験に対応した授業を進める。	社会人として保育園などで働く場合に求められる、コンピューターを活用する能力を習得する。